

# 主要国におけるEV普及の現状と日本の後進性

EVF・MVFメンバー 八谷 道紀

2022.11.10

## EVの種類

1. **BEV** バッテリー EV
2. **PHEV** プラグインハイブリッドEV
3. **FCEV** 燃料電池EV
4. **HEV** ハイブリッドEV（欧米中国ではEVの仲間ではない）

特に中国では**NEV**（New Energy Vehicle）としてBEV+PHEVをほぼ同列に扱っている。したがって統計の数値も合算されて出ることが多い。

欧州の場合はBEVとPHEVは統計上も税制優遇上も分かれているが、**PLUG-IN車**と呼ばれることもある。

米国ではゼロエミッション車(Zero Emmission Vehicle)として**ZEV**と呼ばれる。その場合にはFCEVもこの中に入る。

日本はこれらすべてを**電動車**として扱い、2050年までに電動車100%といている。

## 日本メーカーの開発初期の状況

- 2000年以前米国カリフォルニアの排ガス規制で、ZEVを何パーセントか市場で販売することが要求され、各社競って排ガスのでない車の開発を急いだ。
- その当時はまだリチウムイオンバッテリーもなかったため、電気自動車(EV)は眼中になかったメーカーも多い。
- トヨタは97年にプリウス(HEV)を世に出し、これが大ヒット。このためBEVの開発にはあまり熱心ではなかった。
- 日産は経営不振の時代ではあったが、ソニーと手を組んでリチウムイオンバッテリーの開発を先行していた。

# 世界におけるEVの現状

- 日本以外の国(特に中国、欧州、韓国)はCAFÉ規制とNEV台数目標で規制、補助金などの種々の優遇税制で2020年以降急激にEV台数を増やしている
- 日本は「電動車」と言葉を濁して、HEVを2050年まで続ける様相で、BEVの普及に関してはガラパゴス化することは必然
- これをチャンスに外国メーカーEVの波が日本に押し寄せ、外車比率が高まることが予想される
- 2023年を皮切りに中国、韓国のEV車が日本に輸入される。安さで勝負すると思われるので、どのように市場を守れるのか政策が必要

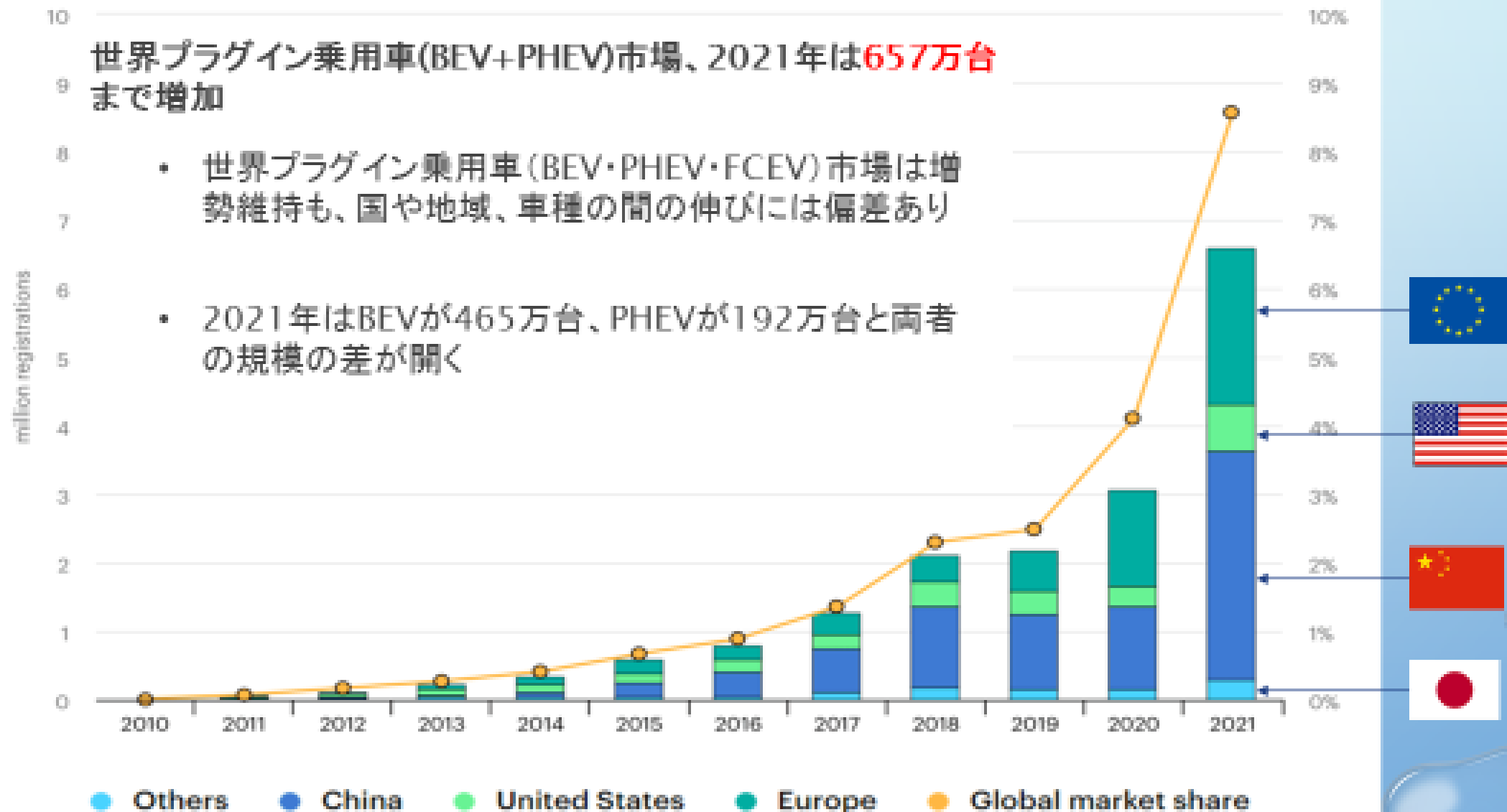
以下は説明資料 世界市場におけるEV販売台数の推移  
企業グループ別EV販売台数 (2021)  
2021年のメーカー別EV販売台数  
欧州カー・オブ・ザ・イヤー 2022



# 世界市場におけるEV販売台数の推移

世界プラグイン乗用車(BEV+PHEV)市場、2021年は**657万台**まで増加

- 世界プラグイン乗用車(BEV・PHEV・FCEV)市場は増勢維持も、国や地域、車種の間には偏差あり
- 2021年はBEVが465万台、PHEVが192万台と両者の規模の差が開く





## 企業グループ別EV販売台数 2021年

順位	社名・グループ名	EV販売台数 (万台)	前年比 伸び率(倍)	EV比率 (%)	株価騰 落率(%)
1	テスラ	93.6	1.9	100	816
2	上海汽車集団	59.6	2.4	21	▲25
3	フォルクスワーゲン	45.2	2.0	5	▲15
4	比亞迪(BYD)	32.0	2.4	43	359
5	日仏連合(日産自動車、ルノー、三菱自動車)	24.8	1.3	3	▲27
6	現代自動車グループ	22.3	1.8	3	37
7	ステランティス	18.2	2.5	3	29
8	長城汽車	13.5	2.4	11	221
9	広州汽車集団	12.0	2.0	29	▲36
10	浙江吉利控股集团	11.0	2.8	8	▲31
10	BMW	11.0	2.9	4	2
12	メルセデス・ベンツグループ	9.9	1.9	4	47
13	奇瑞汽車	9.8	2.2	10	—
13	小鵬汽車	9.8	3.6	100	—
15	中国長安汽車集団	9.6	3.3	4	58
16	上海蔚来汽車(NIO)	9.1	2.1	100	251
17	東風汽車集団	7.1	3.8	6	▲19
18	合衆新能源汽车	6.9	4.6	100	—
19	フォード・モーター	5.5	112.5	1	69
20	威馬汽車	4.4	2.0	100	—
∴	∴	∴	∴	∴	∴
27	ホンダ	1.5	1.1	0.3	2
29	トヨタ自動車	1.4	4.3	0.1	24

(注)出所はマークラインズ、各社公表値。EV販売台数は100台単位を切り捨て。株価騰落率は22年3月14日の終値を19年末と比較した。日仏連合は日産の株価。「—」の奇瑞、合衆、威馬は未上場。小鵬は20年8月の上場。▲は減



# 2021年のメーカー別のEV販売台数（全世界）



凄い勢いで伸びている

トヨタがこんな下位にいる  
Hondaは名前すら出てこない



# 欧州カー・オブ・ザ・イヤー 2022

上位6車種のうち5つがBEV

韓国車が2車種、4位のプジョー308のみガソリン車

1位



起亜 EV 6

2位



ルノー メガーヌEテック エレクトリック

3位



現代 アイオニック 5

4位



プジョー308

5位



シュコダ エンヤックiV

6位



フォード マスタング マッハ-E